

地盤沈下・地下水位
観測成果報告書(32)
(平成19年度)

愛知県環境部

はじめに

本県では、主に濃尾平野の木曽川流域ならびに日光川流域、及び岡崎平野の矢作古川流域において地盤沈下が観測されています。特に、濃尾平野では、全国でも最大規模の海拔ゼロメートル地帯を中心として、昭和40年代には加速度的に地盤沈下が進行し、昭和48年には年間最大沈下量20.6cmを観測した地点もみられました。また、昭和38年から平成19年までの44年間に累積沈下量149cmを記録した地点も見られます。

これらの地域の地盤沈下については、工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例による地下水揚水規制、代替水の供給や水利用の合理化指導、さらには、昭和60年4月26日に関係閣僚会議において策定された「濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱」（平成7年9月5日改正、平成17年3月に関係府省連絡会議で要綱の継続確認）による地盤沈下防止等対策事業（現在も実施中）等の総合的な対策により近年では沈静化の傾向を示していますが、なお湧水時などにおける一時的な地下水揚水量の増大による地盤沈下の再発の危険性を含んだ地質的特性を持った地域であり、今後も揚水規制などの地盤沈下対策と共に、継続した観測を実施していくことが必要です。

県内の地盤沈下を監視するため、昭和48年度から地盤沈下観測所の整備を進め、現在37か所（うち2か所は岡崎市、4か所は豊橋市へ移管）の観測所において地下水位及び地盤沈下量の観測を行っています。

本報告書は、地盤沈下観測所ならびに民間等既設井戸において平成19年に実施した地下水位及び地盤沈下量の観測記録等を取りまとめたものです。この報告書を地盤沈下対策の資料として、ご活用いただければ幸いです。

平成21年3月

愛知県環境部

目 次

1	地盤沈下と地下水位の状況	1
2	観測の現況	14
(1)	地盤沈下観測所の設置状況	15
(2)	観測方法	15
(3)	数値の解説	16
(4)	観測所一覧表	18
(5)	愛知県地盤沈下観測所位置図	22
3	地盤沈下観測成果総括表	23
4	地盤沈下量・地下水位変動図	44
5	地下水位観測成果	84
6	地盤沈下観測成果	175
7	既設井戸水位観測成果	188
8	水準測量調査	195
9	地下水揚水量調査	199